



# 男女共同参画推進委員会

第124回

## 真の「男女共同参画社会」とは？

安中市男女共同参画推進委員会委員

伊丹 義治



私は公立学校に勤務していますが、教員というのは仕事内容に性差がほとんどない職業なので、男女共同参画はさほど

遅れていないと思っています。しかし、そんな学校でも、まだまだ課題はたくさんあります。

例えば、国の目標の中には、「初等中等教育機関の副校長・教頭に占める女性の割合を、2025年までに25%以上にする」というものがあります。2019年の全国平均は20.5%ですので、もう一息というところでしょうか。ちなみに本市の小中学校では、今年度は14.7%です。単純に数字だけと比較しても仕方ないかもしれませんが、なかなか厳しい状況です。

最近では、様々な形で「学校はブラック職場だ」という報道がなされていますが(別に学校だけが大変だとは思いませんけれど)、教頭が激務なのは事実です。朝早くから夜遅くまで、やってもやっても終わらない仕事量で、見ていて気の毒になるほどです。そして、家庭では未だに女性が家事・育児・介護等を担う割合が高い(男性の2倍以

上)という現状を考えると、女性教頭が少ないのは無理ありません。私だって、もし妻が「教頭になりたい」と言い出したら、全面的に賛成・応援できるかどうか…。

しかし、資質や能力のある人が、女性というだけで諦めざるを得ない社会というのは、やはり健全ではありません。職場としても、力のある人を埋めれさせてしまうことになり、大きな損失と言えます。

幸い、職場の働き方改革も少しずつ進んでいます。仕事量が適切になってくれば、家事等に取り組み男性は今よりもっと増えるはず。そして、家庭で男女が共同して役割や責任を負うようになれば、力のある人が、家庭でも仕事でも、もっと活躍できるようにはなりません。

…と、ここまできれいな事を書いてきましたが、現実はどういうまじいかならないでしょうか。女性だからいい、というわけではありませぬし、数合わせで女性を起用する、などとなったら、全く意味がありません。しかし、だからこそ、理想を掲げ、きれいな事を目指して進むのは大事なことでと思います。女性の割合を何%にする、などという目標を掲げなくても済むような社会、女性だろうが男性だろうが、一人一人尊重される社会が、我々の望む男女共同参画社会なのだと思います。焦らずくじけず、長い目で見ていきたいものです。

問合せ▶困地域創造課市民協働係(☎内線1027)

## 安中市消費生活センターからのお知らせ

やめられない!? 占いサイトに気を付けて

### 【事例】

占いサイトの広告を見て、無料で鑑定してくれるというのでサイトに登録した。占い師から「あなたには強い守護霊がいる」などというメッセージをもらい、信用してしまった。その後、占い師が指示する言葉を送り返すように言われ、返信し続けた。やりとりには有料のポイントが必要で「今やめたら幸せは来ない」と言われ、気がついたら約120万円も支払っていた。



### 【どうしたらいい?】

☆占いサイトの中には、インターネットやSNS広告などで「無料鑑定」とうたっている有料のやりとりへ誘導させるサイトもあります。また、氏名や生年月日、メールアドレスなどの個人情報を入力すると、大量の迷惑メールが届くこともあります。無料だからといって、気軽に登録しないでください。

☆やりとりをすることで有料ポイントを消化させられることがあります。金運や恋愛運などについて良い言葉が書かれたメッセージが届いても、安易に返信してはいけません。☆怪しい、やめたいと思ったら、退会する前にやりとりの内容をスクリーンショットなどで残しておきましょう。支払った料金などの返金を求めるための証拠となります。(国民生活センター「見守り新鮮情報」第393号から作成)

### 【問合せ】

わからないことや困ったこと、少しでも不審に感じるものがあつたら、早めに市消費生活センターにご相談ください。

(☎38212228)

相談日時▶月～金曜日(祝日を除く)午前9時～午後4時30分